

2017年8月21日(月) 七ヶ浜国際村(宮城県七ヶ浜町)にて、第1回きぼうの桜サミットが開催されました。

このサミットは、きぼうの桜計画に参加する全国各地の広域交流を創造する目的で、第一回目となる今回は、七ヶ浜町のほか、岩手県洋野町、宮城県気仙沼市、福島県楡葉町と福島市、そして兵庫県淡路市から各代表が参加しました。



オープニングは海が見える舞台上で

七ヶ浜の劇団NaNa5931



寺澤薫・七ヶ浜町長を中心に出演者たち



交流には宇宙桜を彩る市民文化が欠かせません。そこで、今回は、歌と物語を用意しました。歌は、村田さち子作詞、しゅうさえこ作曲、白石哲也編曲による合唱曲「きぼうの桜」の舞台お披露目とし、作曲者しゅうさえこ先生のソロに合わせて地元劇団NaNa5931の子どもたちが、天使のような衣装を着て大合唱してくれました。



東日本大震災の復興各地に宇宙を旅した偉大な桜を植え、震災の記憶と教訓を、千年風化しない方法で子孫に残す。三春滝桜のような大観光資源と未永い広域交流を創出し、22世紀までに世界遺産登録を目指す。

きぼうの桜事業とは・・・東日本大震災の津波や原発事故の被害を受けた地域の津波到達点以高の場所に、数千年生きて超巨大化する遺伝特性を持つ宇宙桜を植樹し、風化しない復興のシンボル及び避難の目印として、永く子孫に受け継いでいく事業です。また、東北のみならず、淡路島や鳥取にも対象地域が広がっていきます。

今回のサミットには、これまでに、きぼうの桜を植えた各地の代表が駆けつけてくださり、きぼうの桜を活用した地域振興と広域交流を熱く議論しました。

この議論の中で、きぼうの桜とともに、歌や物語のような市民文化をどんどん創造し、未来へ受け継いで行くことになりました。また、サミットは毎年持ち回りで開催するということになり、この場で楡葉町と淡路島が立候補しました。

各地代表、左から ワンアース長谷川、宮城県七ヶ浜町・寺澤薫町長、宮城県気仙沼市・菊田忍公民館長、兵庫県淡路市(株)夢舞台・松林真弘部長、福島県楡葉町・松本幸英町長、岩手県洋野町・日當博治副町長、福島県福島市・ふくしま飛行協会・甚野源次郎顧問



来春には、きぼうの桜植樹地域はさらに10以上増える計画です。サミットはますます賑やかになり、その役割は大きくなっていくでしょう。

サミットが終幕する頃、31日連続雨だったこの地方にも遂に薄日が差し、希望の光が見えてきました。

末筆になりましたが、今回のサミット実現のために助成くださった公益財団法人三菱財団様、そして共催してくださった七ヶ浜町に熱く御礼申し上げます。



村田さち子(詩人)

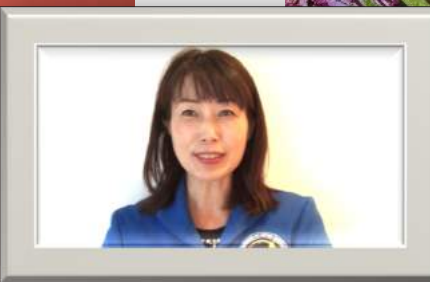
合唱曲きぼうの桜  
村田さち子作詞  
しゅうさえこ作曲



合唱曲「きぼうの桜」の楽譜(カワイ出版)



しゅうさえこ(歌手)



山崎直子宇宙飛行士から、お祝いのビデオメッセージが

三菱財団様の助成で実施した「きぼうの桜物語公募」の表彰式典が行われ、左から 波多野愛さん(つくば市)、斎藤喜章さん(福島市)、菊田忍さん(気仙沼市)が遠路参加してくださいました。



受賞者の三人と審査員(右の5人)